

しんば賀津也と歩む会 NEWS

Shimba Kazuya to Ayumukai NEWS

平成20年1月発行
Vol.12
20,000部発行



平成二十年(二〇〇八年)の新春にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃から「歩む会」の皆様には、温かいご理解とご支援を賜わり、心より感謝を申し上げます。特に、昨夏の参議院選挙では、お陰さまで、82万3184名もの方々からご支持を頂き、再選を果たすことができました。私に託された、皆様の想いや訴えを振り返るたびに、責任の重さを切に痛感し、正に身の引き締まる想いで一杯になります。皆様のご期待に十二分にお応えできますよう、全力で国政での職務を果たすことを改めてお誓い申し上げます。

当選後の臨時国会より、参議院では議院運営委員会理事を、民主党内では「次の内閣」防衛副大臣の重職を拝命しました。ご承知のように、参議院では民主党が第一党となり、与野党が逆転しています。いわゆる「ねじれ国会」として批判する声もありますが、私は、ようやく緊張感ある、本来の「生活第二の政治」、税金のムダ遣いを許さない政治が実現しつつあると考えます。例えば、選挙でお約束した、年金保険料の流用禁止、農業者戸別所得補償など、生活に直結した政策を具体化するために、参議院で法案を提出し可決させま



2007年12月4日 参議院外交防衛委員会 (NHKテレビ入り)

した。また、選挙前より懸案となっていた被災者支援法や労働契約法、最低賃金法等の改正につきましても、与党側に様々な要求を認めさせ、可決・成立させました。

そもそも、政府・与党にとって参院選後の国会の最大のテーマは、「インド洋における自衛隊の給油活動の継続」でした。これまでの国会であれば、いわゆる「給油新法」は、与党の「数の力」による強行採決で成立させられ、国会も延長されずに閉会していたことでしょう。しかし、参議院での与野党逆転と、民主党が第一党になったことにより、政府・与党も慎重に議論を進めざるを得なくなっています。その結果、様々な防衛省関連の汚職や不祥事が明らかになっただけでなく、生活に密着した法案が、皆様の声を反映した形で可決・成立すること

榛葉賀津也 プロフィール

- 1967年4月25日 静岡県小笠郡菊川町(現菊川市)生まれ
- 1986年 静岡県立掛川西高等学校卒業
- 1991年 米国オハイオ州オタバイン大学政治学部及び国際問題研究学部卒業
イスラエル国立エルサレム・ヘブライ大学大学院国際政治学部留学
- 1994年 菊川町議会議員当選(26歳・1期)
- 2001年 静岡県選挙区より第19回参議院議員選挙 初当選(34歳)
- 2007年 第21回参議院議員選挙 2期目当選(40歳)
- 現在：議院運営委員会理事、民主党「次の内閣」防衛副大臣、
党参院国会対策副委員長、総務委員会委員等

が可能になったのです。

年内の衆議院総選挙が予想されています。政官業の癒着を断ち「納税者が中心の政治」を実現させるためにも、やはり政権交代の実現が不可欠です。参院選挙の結果に決して慢心することなく、常に初心を忘れず、皆様の想いを形にするために邁進することを重ねてお誓い致します。本年もご指導をよろしくお願い申し上げます。

平成二十年 新春

参議院議員

榛葉 賀津也

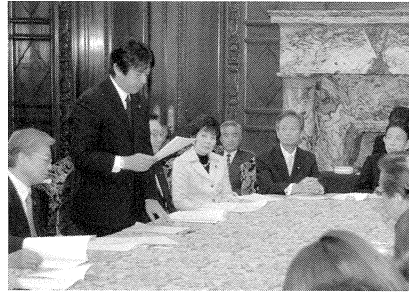


参議院の運営に関して協議する議院運営委員会の理事に就任した榛葉議員。参議院における「与党」理事としての職務と責任は大変重たいものですが、榛葉議員は持ち前の行動力で、今や日本政治の「主戦場」である参議院内を奔走しています。2007年後半、第168回臨時国会における主な活動を紹介します。

国会質疑

◆ 議院運営委員会

十月十四日



会派を代表して意見を述べる榛葉議員

政府提案の国会同意人事案件に関し、一九五五年以来五十六年ぶりに同意しないということから、本会議での採決に先立ち、議院運営委員会で採決が行われました。採決に際し、榛葉議員が会派を代表して、運輸審議会、公害健康被害補償不服審査会、労働保険審査会の三機関三委員の再任人事に同意しない理由を述べ、採決の結果、民主党の意見通りに不同意となりました。

◆ 外交防衛委員会

十月二十七日



外交防衛委員会で答弁する榛葉議員



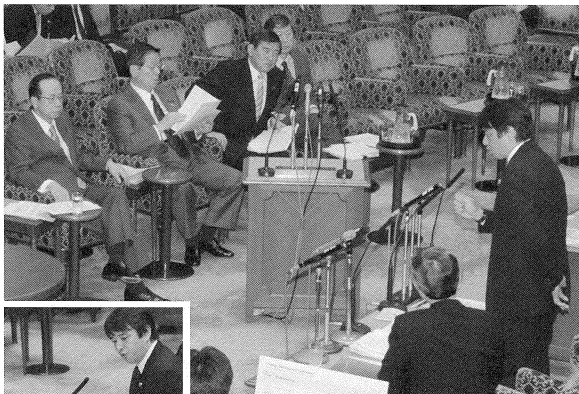
法案可決を受けて謝意を表す榛葉議員。隣は政府を代表して着席する町村官房長官

選挙での公約である「イラクからの自衛隊撤退」の実現を目指し、民主党が参議院に提出していた「イラク特措法廃止法案」の質疑と採決が行われ、榛葉議員は法案の発議者の一人として答弁に立ちました。政府の言う「非戦闘地域」の概念が虚構であると民主党が判断する理由についての質問に対し、榛葉議員は、「非戦闘地域の概念は、たとえ特措法が想定する非戦闘地域が一時的に存在したとしても、相手側の意思により一瞬にして戦闘地域に変わり得るものであり、イラク特措法に基づく自衛隊派遣の法的枠組みは正にフィクションである」と答弁。その後、同法案は賛成多数で可決されました。

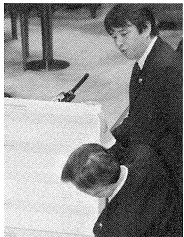
◆ 外交防衛委員会

十月四日
十月十日

政府・与党が第百六十八回臨時国会の最大の焦点としている新テロ特措法案、いわゆる「給油新法」に関する参議院での本格的な議論が十月四日から始まり、NHKでのテレビ中継の下、質疑のトップバッターとして福田首相ら政府首脳に対して論戦を挑みました。榛葉議員は法案審議の前に、守屋前防衛事務次官の逮捕を始めとする一連の防衛省不祥事について反省を求めると共に、不祥事の原因になっている防衛利権のやみにメスを入れるよう要求。更に、文民統制を機能させるためにも、インド洋での自衛隊の給油活動に関する情報の開示や、給油新法における国会承認と国会報告の項目の追加等を強く求めました。しかし、首相や官房長官、外務大臣、防衛大臣は従来の答弁を繰り返すに留まりました。



▲ 福田首相らに質疑する榛葉議員



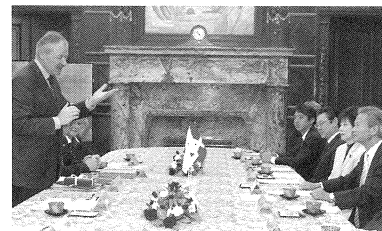
◀ パネルを使って質問する榛葉議員

また、四日の委員会で防衛副大臣から事実と異なる答弁があったことを受け、十日の委員会でも再び質問に立ち、答弁の修正と反省を求めました。

議連理事として議員外交を展開

◆ スイス連邦上院議長一行と懇談

十月三十日



スイスのピエリ上院議長一行と意見交換
撮影：参議院事務局
(右列最奥が榛葉議員)

江田参議院議長の招待によりピエリ・スイス連邦上院議長一行が来日。榛葉議員は江田議長、西岡議院運営委員長らと共にピエリ議長らと懇談。両国の関係強化や地球温暖化対策等について意見交換を行いました。

◆ ベトナム社会主義共和国主席行と懇談

十月二十七日

ベトナムからの初めての国賓として来日したチエット・ベトナム社会主義共和国主席が、江田議長を訪問。榛葉議員は、江田議長、西岡議連委員長らと共に、日本・ベトナム間の議員交流や日本のODAにより建設中のカン・トー橋にて発生した橋げた崩落事故等についてチエット主席一行と意見交換を行いました。

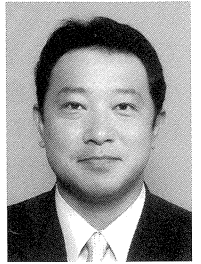


ベトナムのチエット主席に挨拶する榛葉議員
撮影：参議院事務局

謹んで新春のお慶びを申し上げます。会員の皆様には日頃より、榛葉賀津也君の活動に対し、ご支援ご協力を頂いておりますことを、心より厚く御礼申し上げます。

また昨年の参議院選挙では、会員の皆様を中心とした大きなお力で二期目の当選を果たすことができました。本当にありがとうございました。

賀津也君と共に、皆様と共に歩んできた「しんば賀津也と歩む会」。早いもので歩む会ニュースも発行12号となりました。これからも前を向き、歩み続ける会でありたいと考えております。賀津也君への更なる期待と尚一層の会員拡大をお願い申し上げます。



しんば賀津也と歩む会会長 松下 知生

定例の歩む会役員会を毎月開催



歩む会の中核、心臓部とも言えるべき東遠地域の各地区代表者で、6年前から毎月1回定例の会議を行っています。様々な行事・イベントの企画や運営方法を決めたり、情報交換などをおこなっています。

座談会、講演会を開催



榛葉議員の考えや国会情勢、身近な話題などを聞く座談会や講演会を随時開催しています。個人の集まりや異業種交流会など幅広く活動を続けています。ご希望がありましたら事務所までご一報下さい。

群馬を代表する温泉郷
水上温泉へ

秋の親睦旅行に行ってきました!

●11月11日(日)～12日(月) 1泊2日

一昨年に引き続き、昨年も衆議院議員わたなべ周先生の後援会と一緒に「秋の親睦旅行」として群馬県の水上市温泉へ行ってきました。窓から時折見せる紅葉の美しさに感動しながらの道中。秋も深まった佐野厄除大師や足利学校を見



群馬県の景勝地・高津戸峡にて

学し、夜の宴会では、わたなべ周先生、しんば議員が合流し、カラオケ大会やダンスなどで盛り上がりました。2日目は群馬から長野へ。山々に囲まれた中世のヨーロッパの僧院を思わせる戦没画学生慰霊美術館「無言館」を見学し、平和の尊さを考えるひとときとなりました。この2日間の旅行を通して、わたなべ周先生の後援会との交流も深まり、思い出に残る旅行となりました。



かつやの
ちょっといいお店
激辛ラーメン
完食!

静岡市にある「ラーメンランド手越原店」で激辛地獄ラーメン5丁目を見事!完食。

一滴残らずスープまで飲み干すと、ご覧の認定証とお祝いのアイスクリームがもらえます。貴方も挑戦してみませんか?

一声
FIGHT!
一声

榛葉議員を応援しています!

「一匹の桜海老が……」と始まる名演説に心打たれてから4年。身近な方から世界中の人々までに心を寄せ深く愛しながら、真剣に政治に取り組む姿勢は、党派を越えて小泉元総理や福田総理も国会質疑の中で認めてくださいます。この真摯さこそが、いま政治家にもっとも求められているものだと思います。

郷土のことから世界平和までひたむきに取り組む榛葉先生を、みなさんといっしょに心から応援しています!

静岡市 山崎伴子



賀津也の部屋

「自民・民主の大連立！」福田首相と小沢代表の党首会談で上ったサプライズ構想。結果は民主党役員会での反対で、ご破算に。私も正直驚かされた。その後しばらくして、小沢代表と夕食懇談をする機会があった(ちなみに小沢代表は必ず中華料理)。

横に座った代表に、思い切って「事の真相」を聞いてみた。

「私は口数が少ないから、いつも誤解されるんだよ・・・」紹興酒を飲みながら代表が話し出した。相変わらず多弁ではなかったが、周囲の話をも総合すると論点は三点のようだ。①連立をして首相は民主に。②大臣ポストは半分ずつ。③選挙制度の改正。

中でも「選挙制度の改正」がポイントだったようだ。今の300小選挙区+比例180議席の衆議院を、定数3の中選挙区150にし、比例を廃止。結果、議員定数480から450に30削減する、というものだ。議員が固定化し、政党内での競争が機能せず、落選者が「復活当選」する今の制度には問題点も指摘されているからだ。

それでも私は「大連立」には反対だ。官僚主権的な政治が蔓延し、納税者の声が政治に反映せず、税金のムダ遣いが連綿と続くのは、「自民党が悪い」のではなく、政権交代によるチェックが機能していないからだ。政権が代われれば膿も出て政治が「浄化」する。その意味でも次期衆院選は重要だ。結果次第では、再編を含め、政界が大きく動く。歴史的な選挙になるのは間違いない。

2008年 前半 しんば賀津也と歩む会 活動計画

しんば賀津也 国政報告会

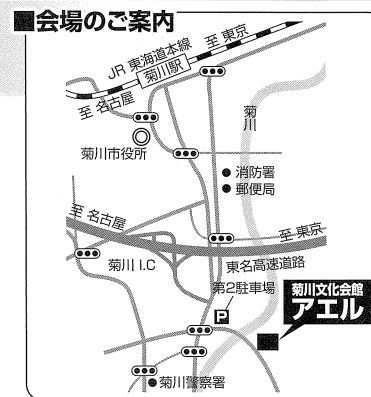
入場無料

■日時 平成20年 2月16日(土)
午後2:00～(午後1時半受付開始/午後3時半終了予定)

■会場 菊川文化会館 アエル 小ホール

■講師 衆議院議員 安住 淳 先生

どなたでも参加できますので、お誘い合わせの上ご来場ください。
尚、同日11:00より歩む会役員による第7回総会を開催させていただきます。



「2008政治セミナー」開催決定!

日時 平成20年 3月19日(水)
午後6:30～
(午後6:00受付開始・午後8:00終了予定)

会場 掛川グランドホテル【3階 ローブルーム】
静岡県掛川市亀の甲1-3-1
TEL.0537-23-3333

会費 10,000円

講師 衆議院議員 藤井 裕久 先生

※軽食をご用意しておりますが、このセミナーは講師をお迎えるの講演会ですので、酒類等は用意してございません。予めご了承ください。※この会は政治資金規制法第8条2に規定する政治資金パーティーです。



早春の東京へ! 国会見学&世界らん展日本大賞2008 日帰りツアー

■出発日 2月28日(木)
■会費 10,000円
(交通費、昼食、らん展入場券を含みます)
■定員 40名
(定員になりしだい締め切らせて頂きます)

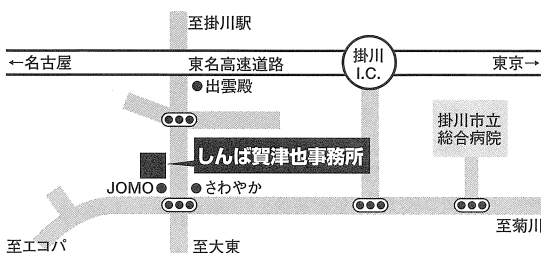
※詳細の日程は事務所までお問い合わせください。



編集後記

2008年、本年もしんば議員の活動を追いかけて、皆さんへより多くの記事を届けたいと思っております。皆さんからのお写真、コメントを募集しておりますので、どしどしお寄せください。今年一年、皆さんにとって輝かしい年となりますようお祈りいたします。
〈編集委員一同〉

「しんば賀津也と歩む会」会員募集中! わたしたちと一緒に様葉賀津也の政治活動を支えていただけの方を募集しています。詳しくは事務所までお問い合わせください。



しんば賀津也と歩む会

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356

E-mail: go@k-shimba.com

http://www.k-shimba.com

発行責任者: 会長 松下知生

しんば賀津也と歩む会NEWSのお問合せは、様葉事務所・事務局 堀池まで